

## タイ・タマサート大学法学部に本学海外拠点第2号を設置 「CHUO-THAMMASAT COLLABORATION CENTER (Chuo University Thai Office)」

2013年12月、ハワイ大学マノア校（オアフ島ホノルル市）に海外拠点（第1号）を設置したのにつき、2014年12月、タマサート大学法学部（タイ・バンコク市）に海外拠点第2号を設置しました。

本学では国際連携推進の重点対象となる地域・国を「環太平洋地域」として、組織体制、教育基盤および国内外のネットワークの整備に注力しています。

これに基づき、まずは、「環太平洋地域」の扇の要に位置するハワイ大学マノア校のイースト・ウェスト・センター内に拠点を設置し、続いて第2号としてはASEAN地域の中心に位置するタイに着目し、1985年以来本学と長い協定関係を有するタマサート大学にオフィスを開設しました。

この拠点はバンコク中心部、タマサート大学タープラチャン・キャンパスにある法学部日本法研究センター内に設置し、名



酒井正三郎総長・学長 オープニング・セレモニーにて

称は「中央大学・タマサート大学コラボレーションセンター「CHUO-THAMMASAT COLLABORATION CENTER (Chuo University Thai Office)」」としました。

2015年3月21日（土）には、タイ・バンコク市内のタマサート大学タープラチャン・キャンパスにて「中央大学・タマサート大学コラボレーションセンター（中央大学タイ・オフィス）」の開所式、レセプションおよびシンポジウムが開催されました。



中央大学タイ・オフィスの前で開所式を行う

## 【タマサート大学】

### Thammasat University

設立：1934年

本拠地：タイ・バンコク

キャンパス：4か所

タープラチャン・キャンパス(バンコク)

ランシット・キャンパス(バトゥムターニー)

パッタヤー・キャンパス(チョンブリー)

ラムパーン・キャンパス(ランパーン)

学部：17学部

学生数：学部生、大学院生を含め約3万4,000人



タイ屈指の名門国立大学。「タイ民主主義の父」とも称される政治家、首相のプリーディー・パノムヨンによって創立。タイで2番目に歴史があり、過去には民主化運動の起点地にもなった。法律、政治の分野でとくに秀でており、タイ王国首相も複数、輩出している。国内で著名な法学部のほか、教養学部、工学部、医学部などの学部を開設。留学先としても人気があり、欧米などを中心に世界各国から学生を受け入れている。

開所式、レセプションには、本学より酒井正三郎総長・学長、大村雅彦常任理事（国際連携担当）、武石智香子副学長・国際センター所長、スティーブン・ヘッセ国際センター副所長ほか、法学部、商学部の教職員、学生が出席しました。このほか、タイからタマサート大学のSomkit Lertpaithoon学長やNarong Jaiharu 法学部長をはじめ、多数の教職員の参加が得られ、在タイ日本大使館や国際協力機構（JICA）タイ事務所など、在タイの日本国関係諸機関からのご来賓の方々も含め、総勢約120名が出席しました。

その後に行われたシンポジウムは、二部構成で実施されました。第一部は「インターネットにおける表現の自由とプライバシー・名誉」をテーマにした、英語による学生のプレゼン

テーション、第二部は「グローバル人材育成と教育の果たす役割」をテーマに、両大学の教授、ゲストの方々をパネリストとしたパネルディスカッションが行われ、オーディエンスも含めて活発な意見交換がなされました。

現在、本学のタイでの学術交流はタマサート大学との学生交換交流や研究者交流だけでなく、カセサート大学、チュラロンコン大学経済学部（本学経済学部と学生交換の協定を締結）、パンヤピワット経営大学等との間でも、学生交換交流やグローバル・フィールド・スタディーズ、インターンシップ実習、SENDプログラム（日本語教育）などの授業を実施しています。

タイ・バンコクでは本学のOB会組織である学会の海外における最大級の支部「バンコク白門会」の協力も得られることから、今後ますます交流活動が盛んになることが見込まれます。

ハワイにある中央大学パシフィック・オフィスに加えてタイ・バンコクに拠点を開設することで、環太平洋地域での本学の教育・研究・社会貢献活動をよりいっそう活発に展開してまいります。



シンポジウムのようす